

一人は万人の為に 万人は一人の為に

roots.
119

根っこのはなし

～生協だからこその商品を深掘り～

創立75周年企画で産直産地を訪問しました!

産直下津みかん／産直提携45周年

「しもつコープファーム」

鳥取県生協の 産直三原則

鳥取県生協の「産直商品」は、次の基準に沿って
生産・管理される商品です。

1 生産者と生産地、栽培・肥育方法
(農薬・肥料・飼料等)が
明確であること。

2 組合員と生産者が
交流できること。

3 適正な
取引価格を追求し、
事業の継続発展が
進められること。



ユニセフ

子ども達の健やかな成長を目指すユニセフの活動は、
生協が願う世界の人々のより良い暮らしと重なります。

contents

02-03 ユニセフ
ユニセフの歩みと現在の活動04-05 根っこのはなし
産直下津みかん 産直提携45周年
「しもつコープファーム」

06 東・中・西部エリアNEWS／イベント情報・活動報告
07 マイボイス／理事会だより／みんなでリサイクル
【開催報告】せいきょう感謝祭in東部／【報告】トラックラッピング
08 【開催報告】協同組合まつり／【報告】行政訪問
クロスワードパズル／ひとことカード



鳥取県生協の2030年ビジョン

ともに生きる ~笑顔と思いやりでつながり、夢があふれる「くらしの協同」を実現します~



鳥取県生活協同組合

創設から19年後の1965年に、
子どもたちの命と成長を守る
ユニセフの活動に
ノーベル平和賞が
贈られました。



※アドボカシーとは、社会的・政治的な課題に対しても、個人や団体が意見を表明したり、政策に働きかけたりすること

現在ユニセフは、紛争や災害、気候変動、感染症などの緊急事態に対応しながら、保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護、HIV/AIDS、緊急支援、アドボカシーなどの支援活動を実施し、また広報誌ユニセフニュースやSNSを通じて、世界の子どもたちの様子や支援活動を発信しています。

ユニセフは、第二次世界大戦で被害を受けた子どもたちを緊急に助けるために「国際連合国際児童緊急基金」として、1946年の国連総会で設立され、戦災国で支援を始めました。1953年には「国際連合児童基金」と名を改め国連の常設機関となり、すべての子どもの命と権利を守るために、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各國政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

1989年には国連で「子どもの権利条約」が採択され、ユニセフは子どもの権利の実現に向けて活動を行っています。この条約は、世界中すべての子どもが幸せに健やかに育つためにもつてている様々な権利を定め、世界196の国と地域が締約する最も広く受け入れられた人権条約です。日本も1994年に批准しています。

生協は、「平和とよりよいくらし」を実現するために多くの組合員さんの知恵や力を集めて発展してきました。その願いは私たちだけではなく「世界に住むみんなが幸せになってほしい」という気持ちにも繋がっています。世界の人々のより良いくらしは、組合員さんの願いでもあり、生協の持つ助け合いの精神でもあります。



組合員さんの願いでもあり、生協の持つ助け合いの精神でもあります。



ユニセフ支援物資例 「箱の中の学校」

ユニセフは、第二次世界大戦で被害を受けた子どもたちを緊急に助けるために「国際連合国際児童緊急基金」として、1946年の国連総会で設立され、戦災国で支援を始めました。1953年には「国際連合児童基金」と名を改め国連の常設機関となり、すべての子どもの命と権利を守るために、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各國政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

すべての子どもに希望を ～ユニセフと子どもの権利条約の歩み～

すべての子どもたちが、健やかに成長できる世界を目指して活動を続ける「ユニセフ」。鳥取県内での活動について鳥取県ユニセフ協会事務局長の奥谷仁美さんから話ををお聞きしました。

鳥取県ユニセフ協会
事務局長
奥谷 仁美さん
Hitomi



戦後の食糧難や資材不足などにより厳しい生活をしていた日本でも、1949年から15年にわたり、ユニセフから学校給食用の粉ミルク、医薬品、原綿など、当時の金額で約65億円の支援を受けました。世界の人々からの支援への恩返しと、日本国内でユニセフの活動を支援するため、1955年に「日本ユニセフ協会」が設立されました。日本ユニセフ協会は民間非営利組織として、ユニセフの活動の広報、募金活動、アドボカシーを担っています。

現在、登録しておられるボランティアスタッフとともに、学校や各団体への出前授業をはじめ、パネル展やブース展示などの啓発活動を行っています。

学習会では、世界の厳しい状況にいる子どもたちについての実状やユニセフが支援活動を行っている様子の動画を見たり、実際の支援物資に触れる体験を行ったりしています。

バケツ一杯の水



生協がユニセフ活動に初めて取り組んだのは、1979年の国際児童年でした。生活に必要な水くみの重労働に追われ、学校に行けず、遊ぶ時間もない子どもたちのために、「バケツ一杯の水を送ろう」と、全国の生協で募金活動が行われました。

ユニセフ出前授業の様子

8月5日(火)、米子市のよつば児童クラブでユニセフ出前授業が行われました。

参加した子ども達からは、「同じ年の子どもが働いていることにおどろきました。」「水が

入った水がめを持つたら重たかった。あれを4時間も持つて歩くのは大変だろうなと思いました。これからは、水を大切に使います。」などの感想がありました。



視聴覚教材の貸出しや出前授業をご希望の団体や、ボランティアスタッフの登録をご希望の方は、鳥取県ユニセフ協会のホームページへお気軽にお問い合わせください。

日本とユニセフ



鳥取県内のユニセフ活動



日本ユニセフ協会



日本ユニセフ協会の
ホームページはこちら▶



「子どものけんり
プロジェクト」はこちら▶



特設サイトはこちら



©NED

奥谷さんから組合員さんへのメッセージ

日本ユニセフ協会とこども家庭庁が共催し、「子どものけんりプロジェクト」キャンペーンを展開しています。その応援キャラクターである記者コンビのジーンとケーンが“子どもの権利”的大切さを伝えています。厳しい状況にある子どもたちや、人権が守られていない現実を知ることから始めて、“子どもは未来への宝”という思いを胸に、子どもが元気に育つ持続可能な社会を目指して、一人ひとりができることに取り組んでいきましょう。



わたしたちの 100円 が子どもたちの未来につながる

鳥取県生協は「ユニセフ募金」に取り組んでいます。世界各地のユニセフ活動に活用される「一般募金」と、国や地域を指定して行われる「指定募金」に取り組んでいます。2025年の指定募金先はミャンマーです。

「一般募金」では、世界190の国と地域で、栄養治療食や薬、安全な飲み水の提供などの命を守る支援に加え、政策提言、保健員や教員等の人材育成、学校建設など長期的な活動にも役立てられています。

募金方法

注文書またはeふれんずにて、注文番号欄に募金番号、注文数の欄に募金口数をご記入ください。

募金番号	募資金額
1522	(一口)100円

例えばこんな活動に活用されています



© UNICEF/UNI124906/Froutan

予防接種

世界では年間150万人、約20秒に1人の子どもたちが、ワクチンがあれば防げる病気で命を奪われています。予防接種は命を落としてしまう子どもたちの数を減らせる、ユニセフの活動の中で最も成果をあげてきた活動のひとつです。

2024年の1年間で、ユニセフは、28億回分の予防接種用ワクチンを99カ国の子どもたちに届けました。1億1,040万人の子どもたちに、はしかの予防接種を行うとともに、15億回分を超えるポリオワクチンを87カ国に届けました。ユニセフは、世界の5歳未満児の45%にワクチンを届けています。



© UNICEF/UN0158150/Sujan

水と衛生

世界の約1億600万人が、湖や河川、用水路などの未処理の地表水を使用しています。汚れた水や不衛生な環境による感染症や下痢により、免疫力の低い幼い子どもたちが命を落とすケースが後を絶ちません。

2024年のユニセフ活動では、清潔な水を届けられるように、井戸などの給水設備を作ったり、衛生的な生活が送れるようトイレを設置したり、学校教育や保健所を通じて、石けんを使った正しい手洗いなどの衛生習慣を広める活動をすすめました。



CO・OP コアノンロールを利用してことで、世界の子どもたちの健やかな成長を支援！



「CO・OPコアノンロール」シリーズを1パックご購入いただきごとに1円がユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付されます。

募金報告

2024年度(2024年3月～2025年2月)に組合員の皆様から寄せられた653,200円のユニセフ募金は、一般募金として353,200円、指定募金として300,000円を2025年3月19日に日本ユニセフ協会へ送金いたしました。

皆様からのあたたかいご支援に感謝申し上げます。2025年度も、引き続きご協力をお願いいたします。

産直提携45周年

下津みかん



75周年記念事業の一環として産地ツアーを企画し、産直提携45周年を迎えた「しもつコープファーム」を訪問しました。

75周年記念事業の一環として産地ツアーを企画し、しもつコープファーム 中西源蔵さんからお話を聞きました。

しもつコープファーム



1980年7月、安全・安心な農産物を求める消費者と協力して「みかん経営」を守っていくため、和歌山県下津町内の農家有志が中心となり「下津町農民組合」が結成されました。鳥取県生協(当時・東部生協)とは、設立当初から産直取引を始め、交流会や学習会などで交流を積み重ねてきました。その後、産直事業を法人化するため、1987年に「しもつコープファーム」に名称を変更し、現在では約70名の農家で、みかんを中心とした柑橘類、キウイフルーツ、夏の「びわ」などを栽培しています。

1980年7月、安全・安心な農産物を求める消費者と協力して「みかん経営」を守っていくため、和歌山県下津町内の農家有志が中心となり「下津町農民組合」が結成されました。鳥取県生協(当時・東部生協)とは、設立当初から産直取引を始め、交流会や学習会などで交流を積み重ねてきました。その後、産直事業を法人化するため、1987年に「しもつコープファーム」に名称を変更し、現在では約70名の農家で、みかんを中心とした柑橘類、キウイフルーツ、夏の「びわ」などを栽培しています。

産直下津みかんは、一般的な栽培方法より、農薬の使用を3割減らした栽培に取り組んでいます。農薬の散布が少なければ病気にかかるリスクが高く、収穫が落ち込む可能性がありますが、組合員の「安全・安心なものを食べたい」という想いに応えるため、安心・安全を一番に、一つひとつ丁寧に愛情を込めながらみかんを育てています。

収穫されたみかんは、光センサーでサイズ、形、色、キズ、腐敗に加え、糖度、酸度、す上がり(果汁が減少する現象)などを検品しています。人の目では分からぬ実の数ミリの腐れなども検知して出荷しています。

「安全・安心なものを食べたい」という消費者に応えたい



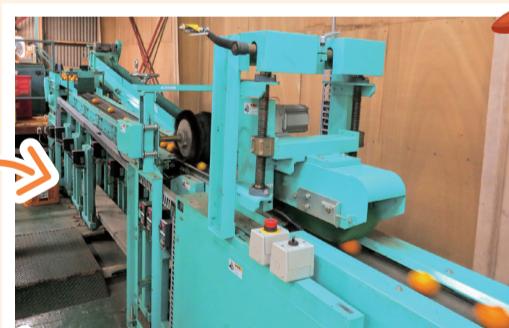
1 荷受け・自動コンテナ計量機

生産者がコンテナに入れて持ち込んだみかんを自動で計量した後、人の目で腐敗した果実を仕分けます。



2 整列ライン

みかんを一列に並べて流します。



3 2種類のセンサーで検品

外観センサー(緑の機械)で、サイズや形、色やキズ、腐敗、生傷を検知します。

食味センサー(白の機械)で、糖度、酸度、浮皮、す上がりを検査します。



4 容器詰め

最大18区分のサイズや糖度毎に分けられた後、計量・出荷されます。



創立75周年
産直産地ツアー
選別の様子を見学しました!

昨年に引き続き、雨が少なく小玉傾向です。近年は、猛暑の影響で「日焼け」をするみかんが増えています。日焼けをしたみかんは、実が硬くスカスカです。また、晴天が続いた後の大雨で「裂果」を起こして割れる実もあります。裂果を防ぐため、雨が少ない時は水やりの作業が増えます。収穫後も生きているみかんが、組合員さんの手元に届くまでに変化を起こすこともあります。検品では、人間の目に見えない部分も、光センサーや糖度計でしっかりと確認するようにしています。

今年の生産状況

組合員と役職員、生産者との交流

創立75周年を記念した企画で「しもつコープファーム」を組合員、役職員21名が訪問しました。「産直下津みかん」の商品学習や集荷場の見学、みかん狩りや生産者との交流を楽しみました。

参加者からは、「良く利用しているみかんの安全性や美味しさへのこだわりについて、生産者さんから直接お話を聞けて良かったです。また、普通のツアーワーではできない集荷場の見学が出来て良かったです。」「下津では、『一度切り』という方法でみかんを収穫されていて驚きました。実際に挑戦してみましたがが難しかったです。」などの感想をいただきました。

匠の技!! みかんの一度切り

動画はこちらから
ご覧いただけます
→



産地からのメッセージ

産直提携45周年の記念に、組合員さんからのあたたかいメッセージが詰まったアルバムをいただきありがとうございます。

また、10月末には、周年記念のバスツアーでしもつコープファームをご訪問いただきありがとうございました。

今年もみかんの季節がやってきました。いただいた応援メッセージを励みに、安全安心で美味しい「産直下津みかん」を提供して参ります。ご利用をお願いいたします。

しもつコープファーム 中西源蔵

メッセージアルバム

こちらから
ご覧いただけます
→



産地からのメッセージ

こちらから
ご覧いただけます
→



産直つながろうプロジェクト

組合員さんからの想いや応援メッセージが込められたアルバムをお届けする「産直つながろうプロジェクト」「アルバム」を実施しました。

8月号のとりコープで、「しもつコープファーム」へのメッセージを募集したところ、組合員さんからたくさんの方からの想いが届きました。アルバムを受け取られた産地から、鳥取県生協にメッセージをいただきましたので紹介します。

下津みかんのココが好き ❤ 産直下津みかんをご利用の組合員さんの声を紹介します！

季節になると毎年注文しています。生産者さんのお顔を写真で見る事が出来て安心です。アレンジはしたことはありません。やはりそのまま食べるのが一番おいしいです！



ひと昔前は少しだけ甘いというイメージがありました。最近はそう思わなくなりました。生産地、生産者がわかるという事と、そのまま食べられるのが嬉しいです。



最近やたら甘いだけのみかんが増えているが、ほど良い酸味も欲しい。「しもつみかん」はそのバランスが良く、力強い味がしておいしいです。



しもつの「冷凍みかん」のファンです。近年は、春、夏、秋と気温が高いので、職場に冷蔵庫が無いので、私は保冷剤代わりにタッパーにみかん1個を入れて保冷バッグに。お昼迄バッグ内をひんやりと、そしてみかんはデザートの頃には食べ頃です。



柑橘を詰め合わせたお楽しみ特別企画！

1月2回 しもつ柑橘セット



しもつコープファームで品種や大きさ、食味などにこだわり厳選したバラエティー豊かな柑橘を、毎週お届けするお楽しみセットの予約登録を企画します！

登録回 1月2回 お届け期間 1月4回～3月4回

(1月26日～3月27日)

柑橘の品種(予定) ネーブルオレンジ、はるみ、不知火、はるか、木成り清見オレンジ

1月2回の
別チラシを
お見逃しなく！



今年度カタログで取り扱いのある商品

- 産直下津みかん (企画10月～2月)
- 達人みかん (その年の最良生産者の中から3名を選定した生産者限定のみかんです。)
- 国産ネーブルオレンジ (企画1月～3月)
- 木熟みかん
- 蔵出しみかん
- 甘夏
- 八朔
- はるみ
- しもつレモン
- しもつの不知火(しらぬい)
- 産直下津みかん
- ぽんかん
- 木成り八朔
- 甘夏等

エリアNEWS イベント情報

申込方法

<ホームページ>ホームページの「イベントカレンダー」または、各イベント案内の二次元コードからお申し込みください。
<注文用紙>各イベントの5ヶタの注文番号と参加人数を注文用紙裏面の4~6ヶタ番号注文欄にご記入ください。(eふれんすも可)
<お電話>下記のフリーダイヤルへお申し込みください。
※申込多数の場合は抽選とし、落選された方のみ組合員登録されている電話番号へ連絡致します。登録以外の番号への電話をご希望の方は日中連絡のつく番号を組合員活動グループ0858-85-0019までお知らせください。
問合せセンター ☎ 0120-225-196 (営業時間)月~金:8:30~20:00 土:9:00~17:00

子育て

ミニクリスマス会

一足早く、お友達と一緒にクリスマスを楽しみませんか。
お気に入りのおもちゃで遊んだり、ママといっぱいふれあったり
サンタさんと一緒に歌って踊って、みんなで弾けちゃおう!!

12月19日(金)

場所: 鳥取県生協東部支所
2階 大会議室
(鳥取市緑ヶ丘1丁目10-3)

時間: 10:00~11:30(受付 9:45~)

参加費: 無料 募集人数: 30組程度

申込方法: 二次元コードよりお申し込みいただき、
備考欄にお子様のお名前と月齢をご入力ください。

※お子さんの飲み物・オムツ・ゴミ袋等はご用意ください。

※組合員以外の方も参加できます。組合員以外で参加をご希望の方は、

ホームページの組合員活動ページ「イベントカレンダー」よりお申し込みください。



申込締切
12月12日(金)

当日の
内容

おもちゃ等での自由遊び、
親子ふれあい遊び、
絵本の読み聞かせ
サンタさんとのふれあいタイムなど



こちらから
お申し込み
ください。

子育て
ひろば

商品

キラリとっとり☆

大山ブロッコリーを極めよう!

JAの方にお越しいただき大山ブロッコリーの美味しさの秘密!

これまでの歴史や栽培方法について教えていただきます

学習の後は各自の車で農場に移動して収穫体験を予定しています
沢山のご参加お待ちしております

1月13日(火)

場所: 鳥取県生協西部支所 2階
(米子市淀江町今津123-9)

時間: 10:30~12:00(受付 9:40~)

※いつもと時間が違うのでお気をつけてください

参加費: 300円 募集人数: 10名程度

託児: なし

持ち物: 車手、雨具、タオル、長靴、

汚れてもいい服装、

暖かい服装でお越しください。



※天候により、収穫体験が出来ない場合があります。その際は、西部支所での学習会を予定しています。

※天候により中止になる場合があります。その際は前日までに電話、ホームページ、インスタグラムでお知らせします。

申込締切: 12月26日(金)

申込番号: 18775



こちらから
お申し込み
ください。

福祉

共済カフェ 中部 with健康チェック

いつまでも地域でいきいきと
健康に過ごすために

~みなさんとクリスマス気分でカフェを楽しみながら
コーポ共済のこと、健康についておしゃべりしませんか?~

12月18日(木)

場所: 倉吉体育文化会館 教養室1
(倉吉市山根529-2)

時間: 10:00~12:00

参加費: 無料 募集人数: 20名程度

持ち物: 筆記用具

当日の内容

- コーポ共済職員による
ベジチェック&個別相談
- 鳥取医療生協の保健師さんの
健康チェック&個別相談
- 認知機能チェック
(ゲーム感覚脳トレ・間違い探し)など

申込締切
12月5日(金)

こちらから
お申し込みください。



・当日の参加OK
・組合員さん以外の
方も参加できます



ライフプランセミナー

~知っ得! お金のはなし ~

皆さんは、自分の将来について考えたことはありますか?

自分の未来のために学び、考え、活かして

自分らしい未来予想図に向かって今から動き始めてみませんか?

みなさんのご参加をお待ちしています!



タイムスケジュール

13:30	開会
13:35	LPAさんによる講話 (年金・社会保障について)
14:35	グループワーク(交流)
14:55	アンケート記入
15:00	閉会

申込締切: 1月9日(金)

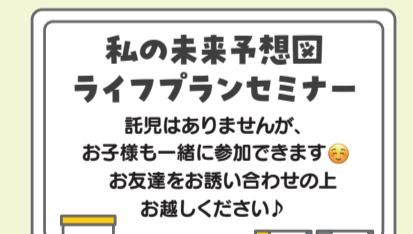
申込番号: 18708

こちらからお申し込みください。



私の未来予想図
ライフプランセミナー

託児はありませんが、
お子様も一緒に参加できます!
お友達をお説明合わせの上
お越しください♪



東部エリア

9月20日(土)「Happyカフェ in 河原本部」

食品ロス削減に貢献したCOOP商品の試食をしながら、家庭での食品ロスチェックやクイズを行い、食品ロスについて考える機会となりました。また「フードドライブ」の余剰食品の寄付協力の呼びかけと、余剰商品を活用した「フードサポート」についての紹介を行いました。



イベント活動の様子は、
鳥取県生協ホームページ
イベントカレンダーより
ご覧いただけます。



中部エリア

9月26日(金)「オタフクソースセミナー」

オタフクソース株式会社様よりお好み焼き士をお招きして、家庭でできる本格広島お好み焼きや、関西お好み焼き作りにチャレンジしました。皆でワイワイ♪とっても美味しいお好み焼きが出来上がりました♪

西部エリア

9月18日(木)「子育てひろば」

0歳の赤ちゃんから上手に走れるお子さんまで参加がありました。お家の方から「家ではなかなかできない競技もあり、我が子がここまでできるのか!と気づきました」と感想をいただきました。参加者全員で身体を動かし楽しい時間となりました。



Instagram
からもご覧
いただけます



※前日又は当日に特別警報、警報が発表されている場合はイベントを中止することがあります。中止の場合は、鳥取県生協のホームページ、Instagramにてお知らせいたします。

問い合わせ先:組合員活動グループ ☎ 0858-85-0019 平日9:00~17:00

